

夏季剣道大会の暑さ対策について（案）

藤沢剣連_事務局

1. 暑さ指数を目安とした臨機応変な対応

全日本剣道連盟のHPにもあるように **WBGT 指数**を意識した対応をとるようにしたい。

温湿度計を体育館／試合会場に**配置**し、暑さ指数に対応した行動を予め検討しておく。

危険レベル：WBGT 値 31℃以上

基本的に試合中止？

（特に子供の場合には試合の中止なども指針に明記されていることを考慮。）

嚴重警戒レベル：WBGT 値 28～31℃

頻繁な休憩、水分補給をとる。

- ・試合時間の短縮、延長戦の制限、判定による勝敗決定
- ・同一選手が連続して試合実施する場合のインターバルを明確化する。
- ・1試合ごとに面を外し、水分補給することを徹底させる。

警戒レベル：WBGT 値 25～28℃

- ・試合時間は通常
- ・延長戦の制限

* 1. 熱中症について_全日本剣道連盟のHPから（資料1）

* 2. 暑さ指数早見表（資料2）

* 3. 温湿度計一覧（資料3）

2. 熱中症予防対策（設備面）

- ・扇風機の設置
- ・スポーツドリンクの準備と摂取の積極的な案内
- ・選手、観客の体調の積極的な監視と注意喚起

3. 熱中症になった場合の対応

救護班を予め**組織**しておき**迅速な対応**が可能な組織／命令系統を整備する。

- ・症状の確認
- ・応急処置（安静、冷却、水分補給）
- ・救急車の手配

<熱中症について_全日本剣道連盟のHPから（資料1）参照>